

学ぶ力について

わが子が意欲的に学習し、賢く成長することを願わない親はいないと思います。

しかし、そんな親の願いとは反対に小学校の学習内容についていくのが大変で消化不良を起こしている児童もみられます。一方、やんちゃで遊び中心の生活をしていたも授業のポイントをしっかりおさえ楽しく学習している児童もいます。

この差はどこから出てくるのでしょうか。それは遺伝とか生まれつきなんていうのではなく、もっと他のことに関係しているように思えます。

そもそも人が学習するのはどんなときでしょう。試験で良い点をとりたいとか、人の上に立ちたいなんていう以前のことです。それは、知的好奇心が作用したときではないでしょうか。知的好奇心があればこそ人類はロケットを飛ばし、海底を探り、いろいろな謎を解き明かそうと努力して今日まで科学を進歩させてきたのです。

でも、意外に好奇心の芽を摘んでしまっているお母さんがいるのではないのでしょうか。

幼児が虫に興味を持ったとき、「かわいい虫ね、何ていう虫か図鑑で調べようね」と言えるでしょうか。「そんな気持ち悪いもの捨てなさい、毒があったら大変よ」

なんて言っていますか。

土や水の変化に興味を持って遊んで来たとき、衣服がどろんこになった子どもをたくまじいなどニコニコ顔で迎えてあげられるでしょうか。幼児のときはおとなしい扱いやすい子を望み、学校に上がった元気がよく意見の言える活発な子を望むのはむしがよいというもの。



さて、勉強は学校に上がったらするものと思っではないでしょうか。勉強はオギャーと生まれたその日から始まるものです。ただし、鉛筆を持って机にむかう勉強ではありませんよ。勉強を学習と置き換えた方が分かりやすいかもしれません。赤ちゃんにとって遊びが学習の全てです。見るもの触れるものが初めて接するもの。赤ちゃんは好奇心のかたまりです。

周りの人の優しい語りかけや、自然と接することにより心も体もぐんぐん成長します。そして幼児期に一番大切な

は、子どもが興味を持って何か質問したときは、できるだけ誠意を持って答えてやることです。

子どもは百パーセントの正解なんて求めていません。嘘はいけません、子どもが自分なりに納得すればいいのです。でも都合の悪い質問に、「お母さん分からないから、お父さんに聞いて」とか、「うるさいな、あんたはそんなこと知らなくていいの」「忙しいから後でね」なんて言っていますか。もしそうなら子どもの好奇心はしぼんでしまい、次からはきくと質問してこないでしょう。

小さい頃から親子でよく遊び、好奇心を大切に育てた子どもは学校に上がってもいろいろなおとに興味を示し、自分から目的をもって学び、新しい学習内容をよく理解し、なかなか忘れないというすばらしい力を持った児童に成長します。

もちろん、今日の児童の学力の問題点はそう簡単ではありません。能力主義による今の教育の構造や受験体制。量的、時間的な学習内容の増大。さらには、家庭や地域環境の変化。遊び仲間や遊ぶ場所の欠乏など、いろいろな問題が山積し一朝一夕には解決できる問題ではありません。しかし、あせらずに一日一日の生活を誠実にし、根気強く、学ぶ力をつけていくことが、結局は賢く成長する近道となっていくように思われます。

講演会と

青少年問題研究会

日時 2月10日 午後1時30分
会場 文化会館 大ホール
テーマ 元気な子どもを育てよう
講師 青少年育成国民会議
専務理事 上村文三 先生

ボーイスカウト 都留第一団隊員募集

みんなで遊ぼう創ろう、チャレンジしよう
○ビーバー隊(来入児、新二年生) 10~15名
○カブ隊(新三年生、新五年生) 若干名

問合せ先

中央公民館
青少年カウンセラ―

○ボーイ隊(新六年生、新中三年生) 若干名
申込締切 二月末日
問合せ先

主催

都留市青少年総合対策本部
都留市教育委員会
青少年育成都留市民会議
都留市育成会連合会

ボーイスカウト事務局
重原安雄
☎(43)1497

親子のボウリング教室&大会参加者募集

主催

勸全日本ボウリング協会
全国ボウリング公認競技場協議会

中学生・高校生
親の参加も認めます

参加費 一名 500円
(貸靴は各自負担)

後援

文部省
市教育委員会
都留市体育協会
各学校

部門 高校生親子の部
中学生親子の部
小学生親子の部

会場

都留ファミリーボウル
毎月第二土曜日
2月11日、3月11日
4月8日、5月13日、
6月10日

参加申込
問合せ先 都留ファミリーボウル
☎(43)2121

内容

ボウリング教室の後、2ゲームのボウリング大会

午前9時45分集合
10時スタート
小学生親子
子供だけの参加も可

